

数値目標

国内外から多くの観光客が訪れ、賑わいで溢れる観光地を目指すことから、次の成果指標の達成を目標とします。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が見通せないことから、いずれの指標もコロナ禍発生前の水準を上回ることを目指しますが、感染状況やその影響を踏まえながら、適宜、目標値の見直しを行います。

1 観光客数を増やす

栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査の指標を用いて、次のとおり目標を設定します。

観光客入込数 R1(2019)【現状値】 **9,228万人** ➡ R7(2025) **現状値を上回る**
 新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回ることを目指します。

観光客宿泊数 R1(2019)【現状値】 **826万人** ➡ R7(2025) **現状値を上回る**
 新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回ることを目指します。

外国人宿泊数 R1(2019)【現状値】 **24.7万人** ➡ R7(2025) **現状値を上回る**
 新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回ることを目指します。

2 観光消費額を増やす

全国共通の基準による観光統計（観光庁「共通基準による全国観光入込客統計」）の指標を用いて、次のとおり目標を設定します。

観光消費額 R1(2019)【現状値】 **7,054億円** ➡ R7(2025) **現状値を上回る**
 新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回ることを目指します。



新とちぎ観光立県戦略

令和3(2021)年3月

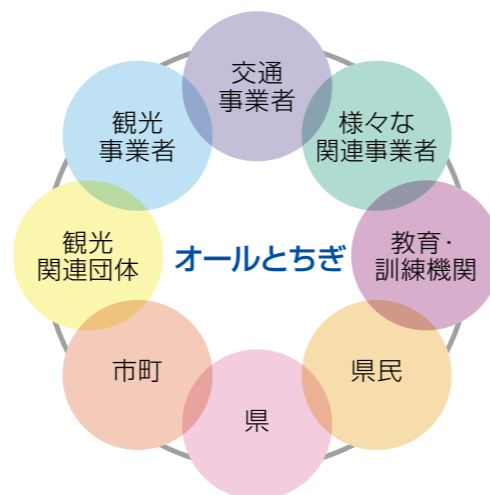
概要版

戦略の推進に向けて

1 各主体の役割

「観光立県とちぎ」の実現には、県、市町、観光関連団体、観光事業者や交通事業者、県民等が本県観光の目指すべき将来像について理解を深め、それぞれの役割を果たしながら相互に連携して、各種施策に取り組んでいくことが必要です。

県としては、今後の観光振興の施策展開の指針として示す本戦略の趣旨や内容の周知を行いながら、オールとちぎによる「観光立県とちぎ」づくりを引き続き展開します。



2 庁内の推進体制等

- ① 「観光立県とちぎ推進本部」において、本戦略の施策を総合的に推進します。
- ② 施策の進捗状況を毎年点検し、「観光立県とちぎ推進本部」においてフォローアップしていきます。
- ③ 数値目標に掲げた項目の結果については、毎年、公表していきます。



新とちぎ観光立県戦略の概要

新とちぎ観光立県戦略 策定の趣旨等

- 1 策定の趣旨 ————— 更なる観光振興を図るため、県が今後5年間に取り組むべき施策の方向性を明らかにするとともに、県、市町、観光事業者、観光関連団体、県民等が互いに協働して取り組むための新たな指針として策定します。
- 2 位置づけ ————— ①本県の観光振興に関する基本的な指針となる計画 ②栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」等と調和が保たれた計画 ③「観光立県とちぎの実現に向けたおもてなしの推進等に関する条例」に基づく観光立県の実現に関する計画 など
- 3 計画期間 ————— 令和3(2021)年度～令和7(2025)年度(5年間)



本県観光を取り巻く社会経済情勢の変化

- 1 国内観光需要の減少
- 2 観光施設における担い手不足
- 3 技術革新とデジタル社会の到来
- 4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響
- 5 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催等

本県観光の現状

- 1 国内旅行者の傾向等
- 2 外国人旅行者の傾向等

本県観光の 強みと課題等

【強み・機会】

- ・豊かな自然、優れた歴史・文化遺産、温泉・農産物・伝統工芸品等の多様な地域資源
- ・東京圏からのアクセスの良さ
- ・いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会等の開催
- ・デジタル社会の進展と技術革新

【課題・脅威】

- ・地域が主体となったDMOの形成
- ・安全・安心に観光できる受入態勢の整備・充実
- ・テーマ性・ストーリー性のある周遊ルートの形成等を通じた宿泊促進
- ・国内観光需要の減少(地域間競争の激化)
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

目指すべき将来像

優れた観光資源の掘り起こし・磨き上げ、そして効果的な情報発信により、本県の魅力が向上し、認知され、国内外から多くの観光客が訪れ、賑わいで溢れている。

施策展開

1 選ばれる観光地づくりの推進

- ① 地域の観光振興を支える多様な人材の確保・育成の促進
- ② 地域DMOの形成促進による地域の個性を生かした観光地づくりの更なる推進
- ③ 市町や地域、観光事業者等との連携による日本遺産等を活用した周遊観光や観光関連産業による食等の地域資源を生かした商品開発等の促進
- ④ 地域資源を生かしたウェルネスツーリズムやサイクルツーリズム等の様々なテーマ別観光の推進
- ⑤ 日光国立公園の「自然体験コンテンツ」の磨き上げ等によるブランド化の促進
- ⑥ SDGsに対応した持続可能な観光地づくりの推進

2 観光客受入態勢の整備

- ① 観光立県とちぎの実現に向けた県民一人ひとりのおもてなし向上への気運醸成
- ② Wi-Fi環境の整備や公衆トイレの洋式化、ユニバーサルツーリズムを目指した受入態勢整備の推進
- ③ MaaSの導入等による二次交通の利便性向上と周遊観光の促進
- ④ 観光地へのアクセス道路の整備や渋滞対策の実施
- ⑤ 宿泊施設、観光施設等における感染防止対策の推進
- ⑥ 「新しい生活様式」に対応した安全・安心なコンテンツ・旅行商品の造成促進

3 国内観光客の誘客強化

- ① 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーンの展開
- ② ワークーションなどの「新しい生活様式」に対応し、本県の優位性を生かした新たな宿泊モデルの推進
- ③ アンテナショップ等を活用した東京圏等への効果的な情報発信
- ④ 大阪センターと連携した関西圏へのプロモーションの展開
- ⑤ 旅前から旅後までを一気通貫で取り組むデジタルプロモーションの展開
- ⑥ デジタルメディアやWEB等を含めた様々な媒体を活用し、年代別等のターゲットに応じた効果的な情報発信
- ⑦ フィルムコミッションを活用した本県の魅力の発信

4 外国人観光客の誘客強化

- ① 外国人材の活用による外国人観光客も楽しむことができるコンテンツの造成
- ② 近隣都県やDMO、市町等と連携した広域周遊観光の推進
- ③ MICE 招致に向けた関係団体との連携強化
- ④ 海外誘客拠点やデジタルツール等を活用した効果的なプロモーションの展開
- ⑤ 旅行エージェントやキーパーソンとの関係構築・連携強化による誘客促進
- ⑥ 旅前から旅後までを一気通貫で取り組むプロモーションの展開
- ⑦ 本県が世界に誇る観光資源を活用した富裕層誘客の推進
- ⑧ 外国語対応人材の拡充や案内表示の多言語化、Wi-Fi対応地域の拡大、トイレ洋式化等による受入態勢の整備
- ⑨ 「新しい生活様式」に対応したアウトドアコンテンツ等の造成促進